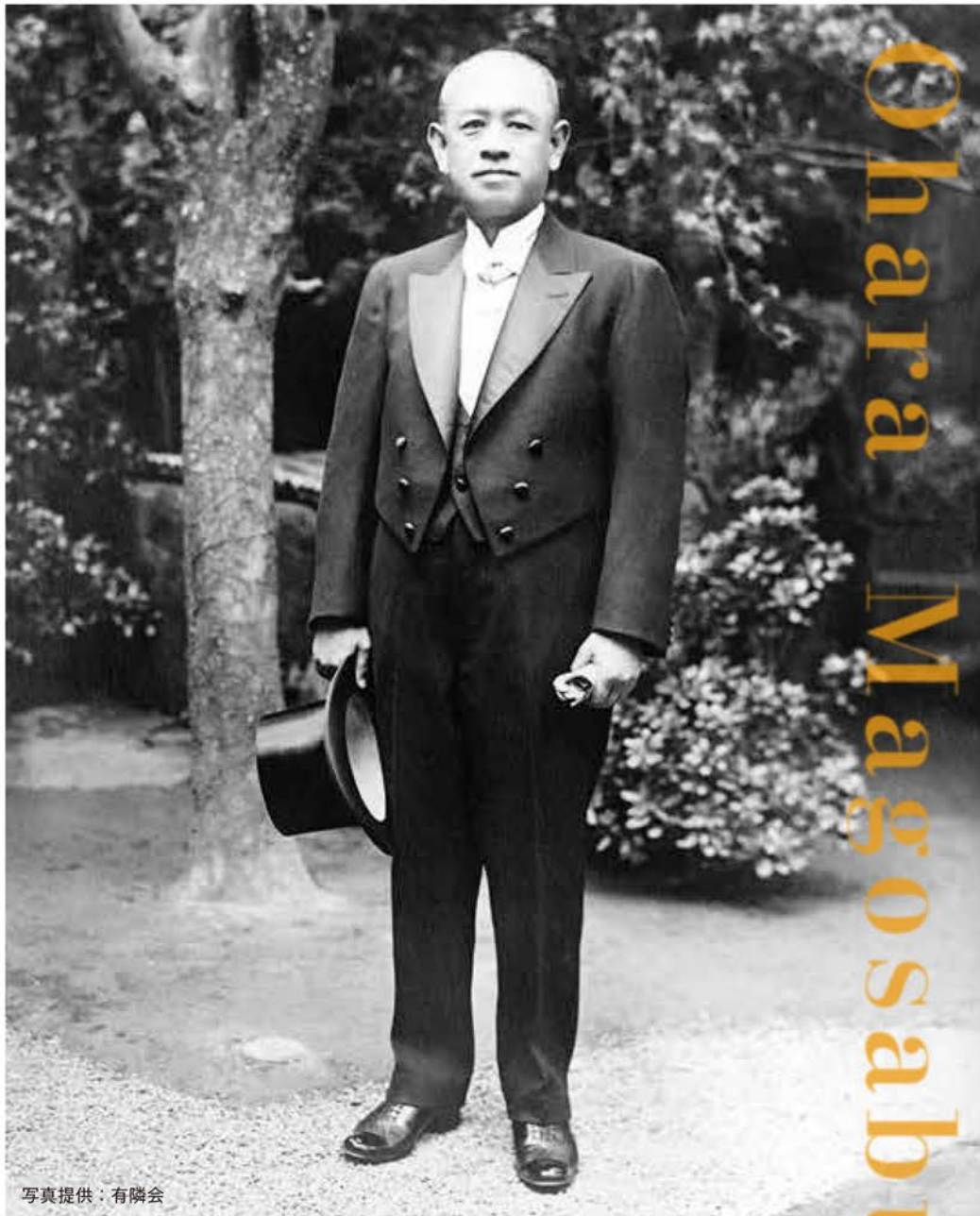


# 下駄と靴をはいた経営者



写真提供：有隣会

# 大原孫三郎

平成30年  
9月21日(金)午後2時～4時30分(予定)  
山陽新聞社さん太ホール(岡山市北区柳町)

入場  
無料

講演



**阿部 武司**

国士舘大学教授

「資産家大原孫三郎の  
企業者活動と社会事業」



**酒井 一博**

大原記念労働科学研究所所長

「科学的労務対策の先進的効果」



窪屋郡倉敷村に生まれた大原孫三郎(1880-1943)。1897年東京専門学校(現早稲田大学)に進んだが、在学中に足尾銅山の鉱害地区を視察して企業の社会的責任を痛感。帰郷後、孤児たちの父となる石井十次に接して岡山孤児院を援助し、また、大原奨学会を通じて多数の若者の学資を支援するなど社会事業に奔走した。

1904年家督を継いだ孫三郎は、倉敷紡績の社長として「職工の人格を認めその幸福を増進すること」を基本方針とし、工場労働者の福祉の向上に努めたほか、労働問題を科学的側面から解決するため倉敷労働科学研究所を創設した。

孫三郎はまた、倉敷町民と倉紡従業員の健康増進のための倉紡中央病院(現倉敷中央病院)や、児島虎次郎が収集した絵画を陳列する「大原美術館」を開設するなど文化都市倉敷の礎を築いた。



クラボウ倉敷本社工場(写真提供:クラボウ)



若い日の孫三郎(写真提供:有隣会)



茶室にて(写真提供:有隣会)

その一方で、倉敷紡績、倉敷絹織(現クラレ)、中国銀行などを経営。産業の振興に尽くし関西財界に重きをなした。

シンポジウムでは、富国強兵が叫ばれる時代に、なぜ労働者福祉を優先し、なぜ社会事業に目を向けたのか、そしてその考えはどこからきたのか。実業家の目・社会事業家の目からその謎に迫る。

### 出演者プロフィール

#### 阿部 武司 (あべ たけし)

国土館大学教授、大阪大学名誉教授

東京都出身。経済学博士(東京大学)。東京大学大学院経済学研究科第二種博士課程単位取得退学。専門は近代日本経済史、経営史。特に、産地綿織物業を中心とした日本綿業の経済史および経営史、大阪を中心とした関西地域とイギリス・ランカシャー地域の比較経営史、戦後日本の通商・貿易政策、企業家の経営史などを研究している。

主な著作に『日本における産地綿織物業の展開』『Region and Strategy in Britain and Japan: Business in Lancashire and Kansai 1890-1990』『近代大阪経済史』『大原孫三郎』などがある。

#### 酒井 一博 (さかい かずひろ)

大原記念労働科学研究所所長

東京都出身。博士(医学)、日本人間工学会認定人間工学専門家。早稲田大学大学院理工学研究科博士課程修了。専門分野は産業疲労、人間工学、労働科学に関する研究ならびに職場改善の実践活動で、人間工学の知見を活かし、主に労働における疲労の科学的な研究に携わる。近年では、国土交通省自動車局「高速ツアーバス等の過労運転防止のための検討会」の委員(座長)を務めたほか、安全運行サポーター協議会(会長)を立ち上げ、「技術と人と仕組みで運輸の安全」、産業別の労働特性と労働者の安全・健康確保方策の研究、人間工学手法によるリスクアセスメントと職場改善の実践などをめざしている。

ご希望の方には「優待席」をご用意します。  
この用紙のままFaxでお申し込みください。

**8月31日(金) 必着**

お名前(企業名)

〒

ご住所

申込人数

※2名までとさせていただきます。

ご連絡先(電話など)

**fax 086-225-5046**

優待席お申込は、ハガキ、e-mailでも受け付けます。

- ◆ e-mail nichiran@rsk.co.jp
- ◆ ハガキ宛先 〒700-8580 山陽放送内(公財)山陽放送学術文化財団
- ◆ 申し込みは1枚(1回)につき2人迄となります。(複数応募不可)

**希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。**

「優待席のご案内」はハガキでお知らせします。

## 絶賛発売中!

### 「岡山蘭学の群像1・2・3」

A5判 定価 1・2 本体 1400円+税  
3 本体 1600円+税(6月下旬発売)

先人のあくなき探究心と、歴史のダイナミズムがここに!



**最寄りの書店でお求めください。**

次回は

**第3回「慈愛と福祉の先駆者たち」**

テーマ: **「留岡 幸助」**

平成30年12月4日(火) 午後2時  
山陽新聞社 さん太ホール